

清和台地区コミュニティ推進協議会 福祉部会 (清和台地区福祉委員会) 第4次地区福祉計画



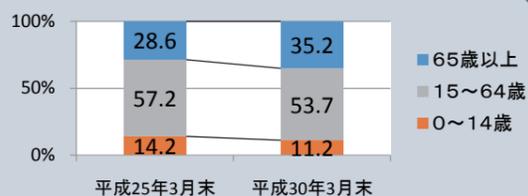
地区の特徴

清和台は市の北部に位置し、昭和40年代半ばから開発された人口13,000人強の住宅地です。地域には、従来からある豊かな自然（岩根山・高原寺のしだれ桜・猪名川など）とが共存し、中央を南北に県道川西篠山線が通っており、また、中心部には、大型商業施設や医療・介護施設、スポーツ公園などが整備されています。

しかしながら、この地域でも少子高齢化が急速に進み、ますます地域の福祉活動が重要視されてきています。我々コミュニティ福祉部会（清和台地区福祉委員会）は、従来より実施している高齢者の見守りと交流、子育て中の親子交流、障がい者と保護者・住民との交流などの活動を、この第4次地区福祉計画を基により一層充実した取り組みを行ってまいります。

清和台地区の人口・世帯数・高齢化率推移

	平成25年3月31日現在	平成30年3月31日現在
● 人口	13,773人	12,978人
● 世帯数	5,414世帯	5,424世帯
● 高齢化率	28.6%	35.2%



福祉目標

みんなで創ろう
誰もが“安心して暮らしつづけられるまち” 清和台を！

地区の重点事業

- 重点1 福祉活動を担う人材確保と育成
- 重点2 高齢者が地域福祉活動に参加しやすいきっかけづくり
- 重点3 地域の資源（施設・人材）を活かした居場所づくり
- 重点4 地域と関係団体とのつながり、ネットワークの強化
- 重点5 窓口事業（くらしの相談窓口「こころ」）の継続と充実

地区別ワークショップでの意見

- ◇ボランティアを確保する。（助け合い・ファミサポ・預かり・三世交代など）
- ◇若い世代・子育て世代のつながりができる居場所を作る。
- ◇困っている人の情報を集める。
- ◇高齢者の移動支援、買い物支援を考える。
- ◇団塊の世代の地域デビューを促す。
- ◇空き家の福祉利用を考える。
- ◇独居高齢者や認知症の方への早期からの支援体制を作る。
- ◇相談窓口「こころ」を地域にアピールする。

第3次地区福祉計画からの課題 (25年度～29年度)

- ◇窓口事業のスタッフ研修を強化し知識の向上を図る。
- ◇助け合い事業の登録者(受けたい人)を増やし安否確認もする。
- ◇認知症行方不明者SOSネットワーク事業で、ネットワークの輪を広げたい。
- ◇認知症カフェ「和」事業を情報の発信基地としたい。
- ◇さんりんしゃ事業では、行き場が無く家に引きこもりがちなお子への広報活動を強化する。
- ◇オンリーワン交流会では、今後、部会と施設関係者(保護者含む)との意見交換も必要か。

現在の地区の取り組み

- 福祉ネットワーク会議 ○ 啓発事業 ○ 窓口事業 ○ 助け合い事業（助け合いネットワーク・災害時要援護者支援認知症徘徊SOSネットワーク・「和」カフェ）○ 交流事業（ふれあい広場・男の料理教室・さんりんしゃ・じてんしゃ・オンリーワン交流会）○ 地域イベント（敬老のお祝・さくら祭り出店・文化祭出店・とんど祭り・もちつき大会）



くらしの相談窓口
「こころ」
こちらが待っています。



助け合いネットワークの仕組み



さんりんしゃ
いきいき元気くらぶ「園芸」の皆さんが育ててくださった、お芋を収穫し、蒸かしたり、焼いたりして頂きます。

助け合いネットワーク
小学校車イス学習会お手伝い。



つながりMAP



- ① 福祉ネットワーク会議
- ② 広報・啓発事業
- ③ 窓口事業
- 助け合い事業
- ④ 助け合いネットワーク
- ⑤ 災害時要援護者支援
- ⑥ 行方不明高齢者SOSネット
- ⑦ 「和」カフェ

- 交流事業
- ⑧ ふれあい広場
- ⑨ ほのぼの会
- ⑩ 男の料理教室
- ⑪ さんりんしゃ
- ⑫ じてんしゃ
- ⑬ オンリーワン交流会

- イベント事業
- ⑭ 敬老のお祝
- ⑮ さくら祭り出店
- ⑯ 文化祭出店
- ⑰ もちつき大会
- ⑱ とんど祭り

- 福祉ネットワークメンバー
- ① 清和台自治会
- ② 石道自治会
- ③ 石道ライオンズマンション自治会
- ④ 虫生自治会
- ⑤ 赤松自治会
- ⑥ 柳谷自治会
- ⑦ 清和台住宅団地管理組合
- ⑧ 清和台幼稚園
- ⑨ 清和台小学校
- ⑩ 清和台南小学校
- ⑪ 清和台中学校
- ⑫ 川西養護学校
- ⑬ めぐみ幼稚園
- ⑭ 新清和台幼稚園
- ⑮ ポラリスデイサービスセンター
- ⑯ エバードリーム清和台
- ⑰ ウェルハウス清和台
- ⑱ 清和苑
- ⑲ やわらぎの里清和台
- ⑳ やわらぎの里がらす館
- ㉑ もみの木
- ㉒ 杉田クリニック
- ㉓ 清和台公民館
- ㉔ 清和台地域包括支援センター
- ㉕ いきいき元気くらぶ(老人会)
- ㉖ 石道老人会
- ㉗ 清和台子ども会
- ㉘ ボランティアひまわり

重点1 福祉活動を担う人材確保と育成

目的

元気な高齢者や若い世代の参画を促進し、幅広い人材を確保することにより、これからの福祉活動を推進する。

具体的取り組み

- ◎福祉ネットワーク会議でPTA関係者に福祉活動への協力を働きかける。
- ◎自治会役員（理事）に任期満了後に福祉部会（福祉委員会）への加入を働きかけ、継続的な環境をつくる。
- ◎自治会の会議（班長会等）を通し、福祉活動への協力者を募集する。
- ◎イベントの準備や後片付けに若い力をかりる。

重点2 高齢者が地域福祉活動に参加しやすいきっかけづくり

目的

楽しく、元気でいきいきと暮らせる地域づくり。

具体的取り組み

- ◎サロンを開設し、参加者に管理運営してもらう。
- ◎「助け合いネットワーク」を活性化させ、経験豊かな多くの人に参加協力してもらえるようにする。
- ◎地域福祉事業に健幸マイレージのしくみ（独自のポイント制）を取り入れる事を検討する。
- ◎広報・啓発活動を活発化させて参加者を募る。

重点3 地域の資源（施設・人材）を活かした居場所づくり

目的

居場所を使って、いろいろな立場の人々が交流し、楽しみ語り合える。

具体的取り組み

- ◎従来の居場所関連事業の活動内容を総括して、さらに幅広い活動を検討する。
- ◎居場所づくりの新しい開催場所を探す。（空家、地域の施設などに協力を依頼する）

重点4 地域と関係団体とのつながり、ネットワークの強化

目的

地域と施設などとのつながりを密にすることにより、幅広い福祉活動を目指す。

具体的取り組み

- ◎福祉ネットワーク会議で、地域の課題を共有し、問題の解決を図る。
- ◎福祉ネットワーク会議に、関係団体の新規加入促進を図る。
- ◎市、社協、地域包括支援センター、自治会、民生・児童委員などとの連携を強化する。

重点5 窓口事業（くらしの相談窓口「こころ」）の継続と充実

目的

さらなる高齢化社会に備えて、福祉活動拠点としての存在価値を高め、各事業との連携を強める。

具体的取り組み

- ◎窓口スタッフ研修を充実し、スタッフの資質の向上を図る。
- ◎スタッフ人員を増強する。
- ◎市、社協、地域包括支援センター、自治会などと連携する。

清和台地区 地区別ワークショップ及び検討会議

- ▷ 平成29年 6月29日 地区別ワークショップ（福祉ネットワーク会議）
3つのテーマ（子育て、高齢者、施設）について、地域の宝、理想の姿、必要な取り組みなどを協議。
- ▷ 平成29年 9月28日 策定委員会
市社協より、計画の意義や位置付け、様式について説明を受ける。今後の地区計画策定スケジュールを協議。
- ▷ 平成29年10月24日 策定委員会
地区別ワークショップの意見集約資料をもとに、次回のワークショップでの議題について協議。第3次地区福祉計画の点検評価。
- ▷ 平成29年10月26日 ワークショップ（福祉ネットワーク会議）
地区別ワークショップで出された意見について、各テーマごとに具体的な取り組みを協議。
- ▷ 平成29年11月 7日 策定委員会
10/26のワークショップで出された意見の集約、整理。
- ▷ 平成29年12月 15日 策定委員会
福祉目標及び重点事業について協議。重点事業を決定。
- ▷ 平成29年12月26日 策定委員会
福祉目標を決定。重点事業の目的と具体的取り組みについて協議。
- ▷ 平成30年 2月 6日 策定委員会
地区福祉計画案を策定。



清和台地区福祉委員会事業一覧表

事業名	区分 新規/重点	内 容 内容、回数、定期開催の場合は曜日
福祉ネットワーク会議	重点 新規	福祉関連団体の情報交換及び地域の課題解決を図る（3回/年） 関係団体の新規加入促進を図る
啓発事業	重点 新規	部会研修、医療講座、福祉講座など、福祉に関わる課題についての研修を定期的実施し、部会内外への知識を広める（自治会・福祉関係団体など）
広報事業	重点 新規	地区福祉だよりを「せいわだいにゆ〜す」掲載（1回/月）、ふくしのまち清和台（2回/年）、ポスター、パンフレット作成 自治会及び関連団体の会合で、福祉活動についての広報活動をさせてもらう（活動のPR・協力者の募集など）
窓口事業 くらしの相談窓口「こころ」	重点 新規	身近な相談（電話、対面）、よろず相談、専門機関への取次ぎ、65歳以上のお一人暮らしの方への安否確認（希望者） お一人暮らしの方への安否確認時に、警察・その他より、身近なニュース(振り込め詐欺・講演会など)を連絡する（月曜日～金曜日）
助け合い事業 助け合いネットワーク		助け合いネットワーク(家事援助事業) ボランティア交流会 ボランティア育成 ボランティア通信発行
災害時要援護者支援		災害時「安否確認」支援（コミと連携） 一時避難集場所までの誘導
認知症行方不明者SOS ネットワーク		民生・児童委員、地域の認知症サポーター、キャラバンメイトを中心とした見守り
「和」カフェ		認知症の方の介護などで悩まれている方々が集まり、お茶とおしゃべり、歌や体操で楽しい時間を過ごす（1回/月）
交流事業 ふれあい広場		地域住民が気軽に立ち寄れる場所（お茶、おしゃべりの場、映画、手づくり、折り紙、歌など）（1回/月）
高齢者の居場所	新規	新たに、西地区に高齢者の居場所を開設する（事業内容は検討）
男の料理教室		原則、主にお一人暮らしの高齢男性を対象とした料理教室 （毎月第1木曜日）
ほのぼの会		65歳以上お一人暮らし高齢者の見守り親睦を兼ねた交流会 （1回/年）
さんりんしゃ		子育て中の親と子どもの交流（毎月第2水曜日）
じてんしゃ		とんど祭りで地域と子どもたちの交流会 （昔遊び・3世代交流・自転車講習会）（1回/年）
オンリーワン交流会		障がい者（児）の集い 保護者の情報交流会（2回/年）
地域イベント事業 敬老のお祝い		70・77・80・88・90・99・100歳以上の方にお祝い品配布 65歳以上の方に食券配布（於：文化祭）
さくら祭り出店		焼きそば・綿菓子・ポップコーンの出店（売上げ：自主財源）
文化祭出店		うどん・炊き込みご飯・綿菓子・ポップコーン出店 （売上げ：自主財源）
もちつき		一般住民にもち配布・子どものもちつき体験・3世代交流し、65歳以上のおひとり暮らしの方に民生委員が赤飯を配布
とんど祭り		ぜんざい・お神酒を振舞う（地域住民との交流）

清和台地区福祉委員会 策定委員会名簿

（順不同）

所属	氏名（敬称略）
清和台地区福祉委員会	安藤 泰基
清和台地区福祉委員会	西山 敦司
清和台地区福祉委員会	岸野 紀美
清和台地区福祉委員会	千鳥 一江
清和台地区福祉委員会	大部 直樹
清和台地区福祉委員会	樫山 富士子
清和台地区福祉委員会	西口 幸子
清和台地区福祉委員会	馬場 生吾
清和台地区福祉委員会	中村 清秀
清和台地区福祉委員会	村上 智永子
清和台地区福祉委員会	宮阪 富美子